

研究助成申請書作成要領（様式1A）

研究助成申請書は、（公財）岡山工学振興会が行う学術研究助成金の交付を申請する者が、財団へ提出するもので、財団の研究助成選考委員会における審査資料となるものです。ついては、下記の点に留意した上で、誤りのないよう作成してください。

記

「研究助成種目」の区分は、研究の目的、性格に応じ次のとおり区分されます。

区 分	研 究 機 関	助 成 額
萌 芽 研 究	1年とします。ただし、研究が複数年にわたる場合には、次年度以降の継続も認めます。	1件につき50万円まで
一 般 研 究		1件につき100万円まで
特 別 研 究		1件につき200万円まで
産 業 先 行 研 究		1件につき40万円

- ※ 1. 同一研究代表者による申請は「萌芽研究」「一般研究」「特別研究」「産業先行研究」を通じて一課題に限るものとします。
- ※ 2. 「申請書」の作成の際には、下記の要領により作成してください。

- ①「研究題目」：研究の内容を具体的に表すようできるだけ簡潔にし、化学式、数式の使用は避けてください。
- ②「研究代表者」：研究代表者（申請者）の氏名を記入し、その上段にふりがなを付してください。
- ③「所属機関・職」：例えば、〇〇大学学術研究院〇〇学域教授と記入してください。
- ④「専門」：専門とされている分野を記入してください。
- ⑤「最終学歴」：例えば、〇〇大学大学院〇〇研究科博士課程（昭和〇〇年卒）（または単位取得退学）と記入してください。
- ⑥「学位」：例えば、〇〇博士・〇〇大学・昭和〇〇年取得と記入してください。
- ⑦「連絡先」：郵便番号、住所、電話番号、E-mail、〇〇大学〇〇学術研究院〇〇学域と記入してください。
- ⑧「推薦者」：所属機関長の推薦が必要です。必ず推薦者の公印を押印してください。
- ⑨「研究活動の内容（萌芽研究、一般研究、特別研究、産業先行研究）」：現在及び将来も含め研究活動の全体像がわかるように記入してください。
- ⑩「申請テーマの研究目的との必要性」：助成種目により一部異なる点がありますので、申請書にかっこ書きしている説明に従って、わかりやすく記入してください。なお、全ての種目について、岡山県における科学技術社会の発展にどのようにつながるか具体的に記入してください。
- ⑪「研究計画の概要」：研究目的を達成するための研究計画、方法を具体的になるべく簡条書きに記入してください。
- ⑫「研究の実施状況」：経過・進捗状況等について記入してください。

研究助成申請書作成要領（様式 1 A）

- ⑬「この研究に関する国内及び国外における研究状況」：現在における国内外の研究状況を記入してください。
- ⑭A「研究経費全体の概要」：研究計画に基づいて、研究費全体について負担区分別にその関係がわかるように記入してください
- ⑭B「研究経費」：⑭Aの研究費全体の中で当財団の助成経費分について、使用内訳別にそれぞれ記入してください。
- (イ) 設備備品費 申請研究費の 90%を超えないよう、仕様（製造会社・型式）も記入してください。申請の機器の性能が研究実施上不適当なもの、研究課題と申請機器の関連が理解できないようなことのないように注意してください。
- (ロ) 消耗品費 薬品、ガラス器具、実験用動物、記録紙等について、品名ごとに記入してください。
- (ハ) 旅費 調査、研究旅費、研究打合せ旅費等、その事項ごとに記入してください。
- (ニ) 謝金 研究補助、専門的知識の提供、校覧等その事項ごとに記入してください。
- (ホ) その他 会議費、印刷費、複写費、通信費、運搬費等その事項ごとに記入してください。
- ⑰「本研究課題に関する他の助成機関への申請の状況」：研究代表者が、この申請以外に申請している場合には、その機関名、助成金の名称、研究課題等について記入してください。
- ⑱「他の機関からの助成金受領の状況」：課題の内容を問わず他の研究助成法人、科学研究費補助金、民間企業等からの助成金を受けている場合にはその内容を記入してください。
- ⑲「研究業績」：最近 3 年間の主要な論文を記載し、本課題に関連する論文名の前の小論に○印をつけ、その別刷（又は写し）を添付してください。研究代表者、共同研究者別に記入してください。

- 注意：（1）公募要項の改正に伴い、申請書及び作成要領も変更となっていますので、熟読の上、申請書を作成してください。
- （2）申請書の記載項目の中で該当しない項目については、白紙のままでなく「該当なし」と記入してください。
- （3）例年見られる申請書中の誤字、当て字等には、十分注意してください。